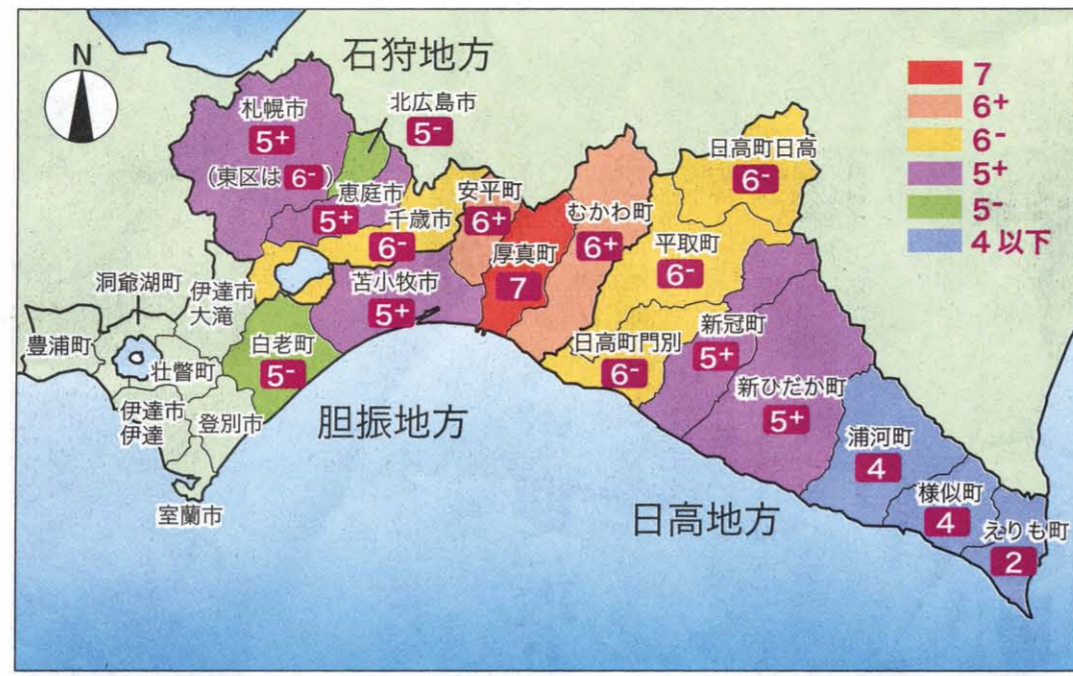


胆振東部地震ドキュメント

【6日】
午前3時7分 胆振地方中東部でマグニチュード(M) 6.7の地震が発生。厚真町で震度6強(後に震度7に修正)、安平町で6強、千歳市で6弱、苫小牧市や恵庭市、新ひだか町で5強などを観測した。1996年に現在の震度階級導入後、震度6強の観測は道内初。道が災害対策本部設置(本部長・高橋はるみ知事)。苫小牧市も災害本部を設置、各指定避難所を順次開設。厚真町が災害対策本部設置。
3時9分 厚真町で土砂崩れを確認。吉野地区など複数箇所で大規模にわたって山の斜面が崩れ、家屋などが押し流された。安否不明者多数。
3時15分 北海道電力苫東厚真火力発電所の1号機が自動停止。道内全発電所が連鎖的に停止し、全295万戸が停電し「ブラックアウト」が起きる。泊原発は外部電源を喪失。
3時20分 厚真町が町内9カ所に避難所開設。
3時30分 安平町が災害対策本部を設置。
3時41分 安平町が町内に避難所開設。
3時45分 厚真町が災害対策本部を設置。
3時50分 厚真町で土砂崩れを確認。吉野地区など複数箇所で大規模にわたって山の斜面が崩れ、家屋などが押し流された。安否不明者多数。
4時5分 厚真町が町内9カ所に避難所開設。
4時50分 安平町が災害対策本部を設置。
5時40分 安平町が町内に避難所開設。
6時 道が陸上自衛隊北部方面総監部、胆振総合振興局が陸自第7師団にそれぞれ災害派遣を要請。
6時22分 新千歳空港の国内線・国際線のターミナルビルの終日閉鎖と同空港発着の全便欠航を決定。
10時 道がむかわ町内の避難所13カ所に646人が避難していることを確認。
11時 道がむかわ町などで2人死亡と発表。
午後3時ごろ 道が全179市町村に災害救助法の適用を決定。
2時30分 苫小牧市が市内39カ所に設置した避難所に457人が避難していることを確認。
3時30分 気象庁が「厚真町で震度7を記録していた」と発表。
5時30分 気象庁が今回の地震を「平成30年度北海道胆振東部地震」と命名。
10時 道が厚真町の土砂崩れなどで計5人が死亡、4人が心肺停止と発表。
【7日】
午前5時30分 本道と本州を津軽海峡の海底で結ぶ送電線「北本連系線」を使い、道外から30万*の電力受け入れ開始。
10時 新千歳空港国内線ターミナルビルの利用再開。
11時20分 高橋はるみ知事、厚真町を視察。
正午 北海道新幹線、運行を再開。
午後0時30分 土砂災害の危険性が高まり、平取町振内の1世帯1人に避難指示。
1時 札幌―新千歳間の快速エアポートの運行再開。
2時 のり面亀裂のため、安平町早来北進の14世帯23人に避難指示。
5時25分 斜面崩落の恐れのため、安平町早来大町の10世帯21人に避難指示。
6時42分 斜面の亀裂のため、安平町追分柏が丘で11世帯18人に避難指示。
7時45分 土砂崩れの恐れのため、同町追分柏が丘で13世帯26人に避難指示。
8時 付近のため池増水により、安平町早来瑞穂の4世帯9人に避難指示。
9時 新千歳空港国内線の一部欠航で搭乗できなかった乗客ら約1200人が空港で一晩を過ごす。
10時 厚真町の土砂崩れ現場で15人の死亡を確認。
【8日】
午前5時50分 新千歳空港で国内、国際線すべての運行再開。
8時 道内の99.3%に当たる世帯で電気が復旧。
午後6時 世耕弘成経済産業相が記者会見で2割の節電を呼び掛け。
10時 道は地震による死者35人、心肺停止2人、安否不明者3人にと発表。
【9日】
午前7時50分 全道すべての信号機が復旧。
9時40分 土砂災害の恐れのため、安平町追分柏が丘の2世帯4人に避難指示。

11時30分 土砂崩れの恐れのため、日高町富川の66世帯119人に避難指示。
11時45分 安倍晋三首相が厚真町を視察。
11時54分 土砂災害の恐れのため、安平町追分本町の13世帯18人に避難指示。
午後1時47分 土砂災害の恐れのため、安平町花園の1世帯3人に避難指示。
【10日】
午前1時43分 厚真町幌内で最後の行方不明者を発見。道は新たに苫小牧市で本の下敷きになって男性(56)が死亡したことを発表。これにより死者は41人となった。
午後9時 苫小牧国際コンテナターミナルが荷物入りコンテナのみ受け入れ再開。厚真町で災害ごみの受け入れが始まる。
午前 厚真町や安平町の水道が復旧せず酪農家の生乳廃棄や家畜の疾病増加など続く。
午後 厚真町が町内の建物被害を220棟と発表。厚真町が生活基盤の復旧費用を400億円以上、安平町は町道復旧などで約70億円(判明分)との試算を発表。
【11日】
午前 苫小牧国際コンテナターミナルが荷物入りコンテナのみ受け入れ再開。厚真町で災害ごみの受け入れが始まる。
午前 厚真町や安平町の水道が復旧せず酪農家の生乳廃棄や家畜の疾病増加など続く。
午後 厚真町が町内の建物被害を220棟と発表。厚真町が生活基盤の復旧費用を400億円以上、安平町は町道復旧などで約70億円(判明分)との試算を発表。
【12日】
午前 むかわ町と厚真町で罹災(りさい)証明書の受け付け開始。厚真町と安平町で災害ボランティア受け付けが始まる。
午前 苫小牧国際コンテナターミナルで空コンテナの荷役一部再開。安平町の追分小、安平小、早来小、追分中で授業再開。むかわ町で災害ボランティア受け付けが始まる。
午前 苫小牧市内の避難所がすべて閉鎖。石井啓一国土交通大臣が厚真町など視察。厚真町の一部地域で生活向けの給水復旧。
【13日】
午前 苫小牧国際コンテナターミナルで空コンテナの荷役一部再開。安平町の追分小、安平小、早来小、追分中で授業再開。むかわ町で災害ボランティア受け付けが始まる。
午前 苫小牧市内の避難所がすべて閉鎖。石井啓一国土交通大臣が厚真町など視察。厚真町の一部地域で生活向けの給水復旧。
【14日】
午前 苫小牧国際コンテナターミナルで空コンテナの荷役一部再開。
午前 むかわ町と安平町で家屋の被害調査が始まる。
【15日】
午後 15日午後5時時点の建物被害が1500棟超の1518棟と道が発表。
【16日】
午前 道が一次産業被害額を約397億円と発表。また、厚真、安平、むかわの3町に応急仮設住宅整備を発表。
【17日】
午前 厚真町が災害ボランティアの受け付けを事前登録制から当日受け付けに変更。
午前 JR室蘭線岩見沢―沼ノ端間が復旧。17日午前10時時点の建物被害が2千棟超の2018棟と道が発表。
【18日】
午前 厚真町内の小中学校4校で授業を再開。胆振東部3町の全学校で休校解消。
午前 厚真町のみなし仮設住宅32戸で入居開始。
午前 安平町の全小中学校で給食再開。
午前 北海道が厚真、安平、むかわの3町で10月末までに応急仮設住宅130戸を建設すると発表。
午前 むかわ町に臨時災害放送局「むかわさいがいエフエム」を開設。
午後 道が発表した胆振東部地震の被害状況調査で、避難所に避難している人が6市町合計958人となり、1000人を下回った。
【19日】
午前 北電苫東厚真火力発電所の1号機が再稼働。
午前 小此木八郎防災担当相を団長とする政府調査団が厚真、安平、むかわの3町などを視察。
【20日】
午前 北電苫東厚真火力発電所を報道陣に公開。
午後 厚真町に臨時災害放送局「むかわさいがいエフエム」を開設。



被害の爪痕広域に

胆振東部地震から半月

死者41人上った6日未明の胆振東部地震の発生から半月、各方面で復旧の動きが進んでいるものの、被害の全容はまだまだつかめていない。北海道で初めての震度7を観測した厚真町周辺の町では今も多くの住民が避難生活を送り、震災の深い爪痕を残している。



地盤の液状化や路面の陥没などの被害が出た苫小牧東港国際コンテナターミナル



タービン火災などで緊急停止し、大規模停電の引き金になった苫東厚真火力発電所



各地の被害状況	
厚真町	死者 36人 負傷者 61人 建物被害 270件
むかわ町	死者 1人 負傷者 256人 建物被害 不明
安平町	死者 0人 負傷者 11人 建物被害 212件以上
苫小牧市	死者 2人 負傷者 21人 建物被害 22件

※20日午後5時現在の数字



断水で牛の飲み水確保に追われた安平町の酪農家



大規模な土砂崩れが発生し、36人が犠牲になった厚真町の災害現場



土砂災害の被害に遭った厚真町の富里浄水場



倒壊など多数の建物被害が出たむかわ町の中央通り



地面に亀裂が走った厚真町のルーラルビレッジ